

この情報紙では、県内各地の社会教育活動を紹介していきます。

編集・発行：新潟県生涯学習協会 調査・広報委員会

* 「にいがた社会教育」から数えて445号になります。

〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107号

TEL・FAX：025-266-1120

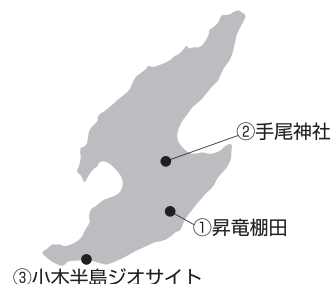
E-mail：syakyo56@feel.ocn.ne.jp HP：http://www.niigata-lla.com/

「佐渡の魅力再発見！」

～情報大公開講座 現地研修～

観光コースにはない佐渡の魅力を体験しようと、新潟国際情報大学の一般向け公開講座「魅惑の佐渡」の受講者を中心に総勢12名が6月の半ばに2日間の現地研修に参加しました。

会場は3カ所。岩首集落の「昇竜棚田」と牛尾神社の奉納薪能、佐渡ジオパークの見どころのひとつ小木半島ジオサイト巡りです。



① 公開講座で紹介された「昇竜棚田」。

棚田の上部に立つと、江戸時代から開墾されてきたという棚田の連続に眼を奪われます。標高差数百メートルの向こうには越佐海峡が広がります。いつまでも佇んでいたい場所でした。

ガイドは公開講座講師の大石惣一郎さん。



② 佐渡に現存している能舞台は30余。春から秋にかけて、島内各地の能舞台で能の公演が催されています。

宿泊した日は牛尾神社の例大祭前夜祭にあたり薪能と鬼太鼓が奉納されました。

夜の冷気が少しずつ増す境内で、薪の炊かれる中で舞われる薪能と趣ある能舞台は格別でした。演能は700年もの間生き続けている少年が菊の花に囲まれ楽を舞い続ける古代中国の話「菊慈童」。



③ 日本ジオパークに認定されている佐渡の「大地のなりたち」を講座で学び、小木半島ジオサイト（見学エリア）を巡りました。

ジオパークガイドの小沢三四郎さんの解説を聞きながら、地層の成り立ちや海底噴火で固まったマグマなどを間近で観察することができ、五感で多くを学んだ時間となりました。



生涯学習聞き歩き

今回は五泉市橋田公民館の取り組みを伺いました。お話しいただいたのは館長の生沼信昭さん、シルバー学級長の皆川進さん、ファミリー学級長の田代栄子さんです。

五泉市橋田地区は五泉市西部に位置し、護摩堂山の山麓に形成される細長い地域で、橋田公民館は10地区、約700世帯を対象としています。

公民館の建物は橋田小学校の中にあります。学校と公民館は、玄関は別ですが内部は廊下でつながっており、交流が活発に行われています。学校後援会による地域の学校支援体制もあり、学校教育・社会教育・地域活動が一体となっている地域です。



公民館の中心事業はシルバー学級とファミリー学級です。

シルバー学級はいわゆる高齢者学級で、芸能祭と輪投げ大会が主な事業。以前は老人会が実施していました。輪投げ大会は、ゲートボール大会をリニューアルしたもの。ゲートボールは競技者しか参加しないため、みんなが参加できるものはないかと考えた結果、輪投げになりました。「わんさが集まったんで驚きました」と平成2年から橋田公民館長を務める生沼館長は笑います。シルバー学級長の皆川進さんは「館長は難しいあいさつはしません。地域の人を目線を大事にする館長の姿勢が、我々の身にもついている。ほかの公民館から見たら平凡なことしかしていないかもしれないが、公民館事業は地域の人からかけ離れてはいけないですね」と話してくれました。

「ファミリー学級の前身は婦人学級で、農協主体の運営でしたから、事業のチラシが届かない世帯があったのです。全戸に情報を届けるためには公民館

主体の活動にしていかなければなら

ない。それで、平成5年頃から今の形に変えた」と生沼館長。さらに対象を「ファミリー」に拡大したことで大人も子どもも参加できる事業となり、様々な内容を取り入れています。中でもお菓子作りや陶芸は20年を超える人気講座となっています。ファミリー学級長の田代栄子さんは「講師はできるだけ地元の人をお願いすることで、身近な人の新たな顔がわかったり、教える側の自信につながったりと、自然な形で学びの循環が生まれている」と話します。

橋田公民館独自の仕組みとして、学級を運営する「公民館運営推進員」が各地区から事業ごとに1名選出され、学級長を中心に活動しています。事業の実施に当たっては、この運営推進員の役割が非常に大きいと、皆川さん、田代さんは声を揃えます。運営推進員は教室の企画運営だけではなく、地域の人に声掛けをして参加者を募ってくれるとのこと。皆川さんは「芸能祭は出演する人も見る人も、毎年とても楽しみにしてくれていて、市もバスを出してくれます。百数十人集まるんですが、チラシをまくだけでなく、推進員が一軒ずつ声をかけるから大勢集まる。そういうつながりがこの地域の美德なんです。我々は行動力が落ちる世代なのですが、推進員が大きな力になり、地域の核になっている」と話します。また田代さんも、「声掛けが友だち作りになる、知らない人との出会いにもつながる。趣味との出会いもある。仲の良い人だけで行動することは当たり前だけれど、公民館は地域全体で輪になって助け合える場なんです」と推進員の役割を話します。皆川さんは10年、田代さんは12年学級長を務めていますが、「推進員の助けがあるからやってこられた」と地域の人々の協力に感謝していました。

第3回

五 泉 市

公民館は
地域全体で
助け合える場

広告①	広告②	広告③
広告④	広告⑤	広告⑥
広告⑦	広告⑧	広告⑨

みえる・つながる・
つくりだす

地域活動キラリ

佐渡金銀山世界遺産登録に向けて「国内推薦」をバネに

佐渡を世界遺産にする新潟の会

佐渡には400年以上にわたる鉱山技術の発展を示す遺跡や建造物、そこに働いた人々の生活の様子を示す住宅や街並みが残し、産出された金銀は江戸幕府、明治政府の基盤を支え、国際経済にも大きな影響を与えました。私たちはこの貴重な文化遺産を世界遺産にするため、地域の中で登録推進活動に取り組んでいます。

県内各地での講演会、各種イベントに参加してのPR事業、小学生対象の出前授業、遺跡周辺での草刈りや古道整備など活動は多岐に及びますが、今年は新潟県内だけでなく、東京・首都圏を中心にアピール活動を継続しています。

5月27日には佐渡市や佐渡、首都圏のメンバーと一緒に都内ホテルで「佐渡は世界の宝島・首都圏交流イベント」を開催、さらに4月、5月、6月と連続して江戸時代の奉行、足軽装束で旧中山道を歩く「金の道ウォーク」を実施。登録に向けた気運を大いに盛り上げました。

佐渡金銀山は現在、暫定リストに登録されています。次の段階として日本国内で「推薦」を受け、最終的には国連教育科学文化機構（ユネスコ）の世界遺産委員会での登録決定（2019年）により登録が実現することになります。まだ何段階かのステップをクリアしていかなければなりません。

私たちは今後も「佐渡の宝を世界の宝に！」「新潟県から初の世界遺産を！」という熱い思いで活動を進めていきます。皆さんの応援よろしくお願いいたします。一緒に活動して下さる方を募集しています。お問合せ、申し込みは下記へ



〒950-8546
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ14F
佐渡を世界遺産にする新潟の会
☎015-248-3013
E-mail :sado-sekaisan@nnj-net.co.jp

『誰でも気軽に立ち寄れるお茶の間を』

三条市北入蔵在住 川崎光枝と仲間達

地域に住む私達（いずれ高齢になる人たち）が自宅以外の居場所が必要になるだろうと思い、大崎コミュニティが発足した12年前に数人に声を掛け、北入蔵公民館を会場に茶の間を始めました。

当時は春と秋に地域の緑地帯に花を植え、月に1回ですがお茶飲み・雑談・小物作り・昼食会等で楽しめました。2年目はカギ開けを1年間の当番制にするなど積極的に協力してもらえるようになりました。

東日本大震災の時は三条市に避難されて大崎地区に残られた（日中家にいらっしゃる）人たちに声を掛けて、年齢も近いので交流の場にしてもらい、手作り品のご指導もしていただきました。

12年経った最近健康のための体操教室を開催したり、付近にも私設のお茶の間ができたりして、

いよいよ高齢時代がやってきたことを実感しています。

若干の入れ替わりはありますが毎月20人程度の参加者で、カギ開け当番も

3ヶ月の短期間で交代しています。花植えは大崎コミュニティの環境部会に引き継いで頂いたので今年も花が綺麗に咲いてホッとしています。

これからは超高齢社会になり、できないことが増えてくると思いますが、『誰でも気軽に立ち寄れるお茶の間を』を自然体で続けたいと思っています。



広告⑩

広告⑪

広告⑫

広告⑬

広告⑭

広告⑮

広告⑯

広告⑰

広告⑱

ひと・人・ひと

阿賀町 佐藤 道代さん

忘れ上手は、健康と
長寿の秘訣といわれて
います。私も歳を重ね
てきて忘れることがた
びたびでも、健康だか
らまあいいかと楽観。



ボランティアで施設訪問や弁当配達、都会の中学生の修学旅行の民泊のお手伝い等、自分でできる力を発揮して、地域の人とコミュニケーション作りがんばりたいと思っています。

掲 示 板

◆ にいがた生涯学習県民フォーラム2017
～学びを楽しみ 学びを生かす～

期 日 9月15日(金)～16日(土)

会 場 県立生涯学習推進センター

問い合わせ

県生涯学習推進課 025-280-5616

◆ 新潟県立生涯学習推進センター

① にいがた連携公開講座2017 9月15日(金)
第6回講座(生涯学習県民フォーラム)
「地域を元気にするのは学びの力!」

講師:フリーアナウンサー

事業創造大学院大学

客員教授 伊藤 聡子 様

② にいがた未来創造講座2 9月26日(火)
「パワー・ネゴシエーター(交渉人)養成講座」
～ネットワークを構築する為の調整力と交渉力～

講師 研修会社FT&パートナーズ

代表パートナー 高野 文男 様

③ コミュニティリーダー研修会 11月22日(水)
「学びを楽しみ、地域に貢献!」

～地域資源・人材を生かした講座企画でまちが元気になる～

講師:大阪府交野市交野おりひめ大学
総合プロディューサー・理事 甲斐 健 様

④ 社会教育主事講習(B)

H30・1月22日(月)～2月28日(水)

問い合わせ

県立生涯学習推進課 025-284-6110

ねつとわーく

平出 修 研究会

ひらいでしゅう
平出修は1878年現在の新潟市東区猿ヶ馬場に生まれ、小学校教員を経て現明治大学を卒業後、弁護士となりました。

上京後と謝野鉄幹らとの親交により法律と文学の二つの道を歩み、大逆事件では弁護人としてそのヒューマニズムに徹した弁論で青年法曹家としてその名を知られることになりました。

研究会は修の顕彰活動を中心に1969年に都内で発足、昨年事務局を新潟市に移転しました。会では年2回、修と関連あるテーマの講演や会員の研究テーマの講演会を開催しております。



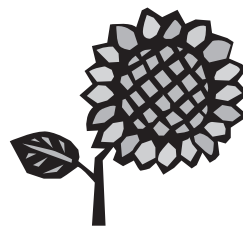
平出修研究会事務局(折笠)

FAX 025-277-3720

新潟県生涯学習協会
インフォメーション

◆ 常に会員募集中です!

つながりたい方、地域づくりに興味のある方、県内の情報が欲しい方など是非会員になってください。お待ちしております!!



☎ 025-266-1120 事務局へ♪

調査・広報委員長のつぶやき

ある日、事務室の片隅で公民館大会の打ち合わせ会議がありました。

メンバー3人は協会の役員及び委員会委員です。そのうちのS氏は遠方からの参加で、公民館から会議旅費が支給されると「まさか旅費が出るとは思わなかった」とうれい様子。そういえば、協会は活動のすべてがボランティア。報酬も旅費もなし。隣で聞いていた協会の事務局長さんは「まさか」を聞いて、「ない袖は振れない」と複雑な気持ちだったでしょうか。(田原)